

科目名	実用英語 I、II - ②						
科目名(英)	Practical English						
単位数	4	時間数	60	担当者	深川信子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科1.2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング、リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					文法:基本文法を理解する事ができる	
	○					語彙:TOEIC頻出単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング:様々な国の英語に慣れ、話の内容を理解する事ができる	
	○					リーディング:ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集2(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	2	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	3	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	4	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	5	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	6	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	7	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	8	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	9	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	10	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	11	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	12	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	13	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	14	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	15	Listening , Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
評価方法	(1)毎週、単語テストを実施する (2)朝自習プリントを提出する事 (3)定期試験(筆記)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
	発表・作品						
履修上の注意	・授業中のスマホ禁止 ・辞書を持参する事 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I - ②						
科目名(英)	Practical English I - ②						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科・ホテルブライダル科 1年・2年						
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く能力を実践的に修得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				英語検定2級レベルの語彙(4,000~5,000語)の意味を理解できる。		
	○				まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。		
	○				日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。		
	○				日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。		
○	○				日常生活での話題についてある程度まとまりのある文書を書くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 DAILY20日間 英検2級集中ゼミ ・旺文社 2018年度版英検2級過去6回全問題集&CD ・桐原書店 English Grammar Navigator Workbook						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	プレイズメントテスト					
	2	プレイズメントテスト					
	3	英検2級の概要と学習の進め方、分野別学習方法(語彙1)					
	4	分野別学習方法(語彙2、リスニング問題 会話文1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	5	分野別学習方法(語彙3、リスニング問題 会話文2)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	6	分野別学習方法(イディオム1、リスニング問題 文の内容一致1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	7	分野別学習方法(イディオム2、リスニング問題 文の内容一致2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	8	分野別学習(語彙、イディオム)確認テスト、リスニング問題			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	9	分野別学習方法(語句の空所補充問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	10	分野別学習方法(語句の空所補充問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	11	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	12	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	13	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題3、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	14	長文の内容一致選択問題の確認テスト、英作文の書き方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	15	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	16	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	17	英作文(文型2・文型4)の書き方、文法(分詞)、リスニング			総合問題を事前に読み、問題を解いておくこと		
	18	総合問題(英作文)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	19	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	20	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	21	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)					
	22	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	23	実践問題 2018年度第3回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	24	2018年度第3回問題より、英作文の解説と作文のポイント			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	25	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)					
	26	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	27	実践問題 2018年度第2回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	28	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)					
	29	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	30	実践問題、定期試験(50分間)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○		○		25%
	宿題	○			○		20%
授業前課題				○		5%	
履修上の注意	・授業前課題を必ず行うこと。この課題の確認テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)、筆記具、ノートを持参すること。アプリの辞書機能は使用しない。						

科目名	実用英語 I、II-②					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60	担当者	波多野 里美	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・2年 ・ エアライン科 1年・2年					
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習します。授業は、朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組みますので予習・復習を忘れないでください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自自宅学習してください。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
		○				目標
		○				英検準2級の合格を目指す。
		○				英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。
		○				英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
	○				英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。	
	○				英検準2級程度の英作文を書けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	16	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	21	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		

	26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語Dクラス 学期末試験	授業内容に係る学期末テストを実施するので復習しておくこと				
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	小テスト		○				50%
	検定取得		○				
	朝課題・宿題・授業態度				○		
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I II ②						
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	辻 泰宇		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年						
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる	
	○					読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる	
	○					リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる	
	○					英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・ での順パス単 英検2級 						
授業計画 授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素SVOC			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること		
	2	序説: 5文型と文構造			各文型の基本構造を言えるように覚えること		
	3	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	4	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	5	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	6	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	7	5日目: 長文の語句空所補充問題① 解説・問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	8	6日目: 長文の内容一致選択問題① 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	9	6日目: 長文の内容一致選択問題① 問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	10	7日目: 長文の内容一致選択問題② 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	11	7日目: 長文の内容一致選択問題② 問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	12	8日目: 英作文問題① 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	13	8日目: 英作文問題① 問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	14	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	15	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	16	9日目: リスニング問題を攻略! ①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	17	10日目: リスニング問題を攻略! ②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	18	11日目: 【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 単語⑤			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	19	演習: リスニング特訓①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	20	12日目: 【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 熟語⑥			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	21	13日目: 【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 文法⑦			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	22	14日目: 【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 語法⑧			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	23	演習: リスニング特訓②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	24	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題を攻略! ②-1			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	25	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題を攻略! ②-2			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	26	演習: リスニング特訓③			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	27	16日目: 【応用】長文の内容一致選択問題を攻略! ③-1			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	28	17日目: 【応用】長文の内容一致選択問題を攻略! ③-2			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
	29	演習: リスニング特訓④			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること		
30	前期定期試験(筆記)			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる。授業後には覚えること			
評価方法	(1). 月曜日から金曜日まで毎朝、英語テストを実施する(時間厳守!)。 (2). 朝自習のプリントは自己採点の後、担任の先生に必ず提出すること。 (3). 前期・後期の各学期中に定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
宿題・レポート	◎	○		○		25%	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を持参すること ・授業中の私語、スマホの使用は禁止 ・授業外での自主学習の推奨 						

科目名	実用英語補講 I・II						
科目名(英)	Practical English (supplementary) I・II						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科1.2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング、リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					文法:基本文法を理解する事ができる	
	○					語彙:TOEIC頻出単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング:様々な国の英語に慣れ、話の内容を理解する事ができる	
	○					リーディング:ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集2(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	2	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	3	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	4	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	5	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	6	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	7	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	8	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	9	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	10	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	11	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	12	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	13	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	14	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	15	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
評価方法	(1)毎週、単語テストを実施する (2)朝自習プリントを提出する事 (3)定期試験(筆記)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・授業中のスマホ禁止 ・辞書を持参する事 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語補講 I II						
科目名(英)	Practical English (Make-up classes) I						
単位数	2	時間数	15	担当者	津田 徳子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年						
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力と高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とのコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く力を実践的に修得する。英語検定のための、受験指導を含む。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる	
		○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる	
		○				リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる	
		○				英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・2019年度版英検2級過去6回全問題集 ・ できる順パス単 英検2級 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	2019年度第1回問題 解答					
	2	2019年度第1回問題 解答解説(2級の概要と内容把握。各自弱点の把握)				教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく	
	3	分野別対策(語彙・イディオム、リスニング第1部)				教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく	
	4	分野別対策(語彙・文法:分詞、リスニング第2部)				教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく	
	5	分野別対策(語彙・イディオム・文法)指定時間内で解答練習 リスニング弱点部分の強化				教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく	
	6	分野別対策(短文の空所補充、リスニング)				教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく	
	7	分野別対策(E-mailの読み方と読解、リスニング)				教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく	
	8	分野別対策(長文読解、リードと主題について、リスニング) ⇒実用英語 I・II ②へ続く				教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく	
	9	実践問題(2018年度第1回)					
	10	実践問題(2018年度第1回)解答解説、				2018年度第1回不正解問題の再解答	
	11	実践問題(2018年度第2回)				2018年度第2回不正解問題の再解答	
	12	実践問題(2018年度第2回)解答解説				2018年度第2回における語彙、文法の復習	
	13	実践問題(2018年度第3回)				2018年度第3回不正解問題の再解答	
	14	実践問題(2018年度 第3回)				2018年度第3回における語彙、文法の復習	
	15	学期末試験(50分間)、受験上の注意点と総まとめ					
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○		○		25%
	宿題	○			○		20%
授業前課題				○		5%	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・朝課題を必ず行うこと。この課題の確認テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)筆記具、ノートを持参すること。アプリ辞書機能は使用不可。 						

科目名	実用英語補講 I II						
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	辻 泰宇		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年						
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる	
		○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる	
		○				リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる	
		○				英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] でる順パス単 英検2級 						
授業計画	回数回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	【筆記[1]】 短文の語句空所補充問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	2	【筆記[2]】 長文の語句空所補充問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	3	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	4	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	5	英作文・リスニング演習①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	6	【筆記[1]】 短文の語句空所補充問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	7	【筆記[2]】 長文の語句空所補充問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	8	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題③+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	9	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題④+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	10	英作文・リスニング演習②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	11	【筆記[1]】 短文の語句空所補充問題③+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	12	【筆記[2]】 長文の語句空所補充問題③+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	13	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題⑤+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	14	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題⑥+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
15	英作文・リスニング演習③			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
評価方法	(1)、月曜日から金曜日まで毎朝、単語テストを実施する(時間厳守!!)。 (2)、朝自習のプリントは自己採点の後、担任の先生に必ず提出すること。 (3)、前期・後期の各学期中に定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・朝自習課題	◎	○		○		25%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を持参すること ・授業中の私語、スマホの使用は禁止 ・授業外での自主学習の推奨 						

科目名	実用英語補講 I、II						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30	担当者	波多野 里美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・2年 ・ エアライン科 1年・2年						
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習します。授業は、朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組みますので予習・復習を忘れないでください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自自宅学習してください。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				英検準2級の合格を目指す。	
		○				英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。	
		○				英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。	
		○				英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。	
	○				英検準2級程度の英作文を書けるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	小テスト		○				50%
	検定取得		○				
	朝課題・宿題・授業態度				○		
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語表現Ⅱ						
科目名(英)	English Expression Ⅱ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	ビジネスの現場で使われる定型表現や英会話を学び、アウトプットできるよう繰り返し練習します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		基本的な依頼表現や許可表現を理解し使うことができる。	
	○	○		○		ビジネスの場で使われる慣用表現や会話を覚え、使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	作成プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス確認、チェックインカウンター①				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	2	チェックインカウンター②				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	3	チェックインカウンター③				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	4	チェックインカウンター④				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	5	チェックインカウンター⑤				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	6	チェックインカウンター⑥				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	7	手荷物のお預かり				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	8	赤ちゃん連れのお母様				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	9	お土産店にて・搭乗前の食事のご案内				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	10	忘れ物・迷子のお客様				授業で学習した内容を復習しておきましょう。	
	11	ロールプレイング①				これまでに学習した内容の確認、ロールプレイをします。練習をしておいて下さい。	
	12	ロールプレイング②				これまでに学習した内容の確認、ロールプレイをします。練習をしておいて下さい。	
	13	ロールプレイング③				これまでに学習した内容の確認、ロールプレイをします。練習をしておいて下さい。	
	14	ロールプレイング④				これまでに学習した内容の確認、ロールプレイをします。練習をしておいて下さい。	
15	総仕上げ				これまでに学習した内容の確認、ロールプレイをします。練習をしておいて下さい。		
評価方法	(1)授業の中で、発表を行う。(2)宿題・レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎	○		◎		50%
	発表・作品	◎	○		◎		50%
履修上の注意	授業で学んだ会話表現を、暗記できるまで繰り返し練習しましょう。						

科目名	エアラインゼミ Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15	担当者	波多野 里美		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	ビジネス社会は企業によって成り立っていて、その社会の中で働いていくためには、秩序に従い規範を守って行動することがとても大切です。この授業では、ビジネス社会の一員として自信をもって働いていけるように、基本的なビジネス実務マナーを学習していきます。また、航空会社関連等の社員として必要な知識、会社から求められている接客サービスのレベルについて理解を深め、将来の入社後を見据えて専門用語について学習していきます。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				航空会社の新入社員として知っておくべき基礎知識を確認します。	
				○		社会人として必要とされる基本的な資質・身だしなみ・自己管理について学習する。	
		○				新入社員としての基本的なマナーを学習する。	
		○				航空業界の専門用語について学習します。	
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	新入社員としてのマナー—身だしなみ・性格・自己管理			テキストを事前学習しておくこと		
	2	新入社員としての資質について—良識・協調性・積極性			テキストを事前学習しておくこと		
	3	対人関係の対処について—接客時の必要な知識			テキストを事前学習しておくこと		
	4	対人関係の対処について—接客時の必要な知識			テキストを事前学習しておくこと		
	5	航空会社の専門用語について			テキストを事前学習しておくこと		
	6	航空会社の専門用語について			テキストを事前学習しておくこと		
	7	航空会社の専門用語について			テキストを事前学習しておくこと		
	8	航空会社の専門用語について			テキストを事前学習しておくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)ビジネス実務マナー検定3級の成績を考慮する。(2)小テストを5回実施する。(3)宿題・授業態度等を考慮する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題		○				50%
	授業態度				○		50%
履修上の注意	出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、単位取得ができない。						

科目名	ソーシャルスタディー						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	社会人になる上で社会学習体験を実施し、マナーや身嗜み、一般常識を身につける。クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。また、外部講座を受講し、実践に役立つスキルを学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナーを身につけ実践することができる	
				○		自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	高齢者疑似体験			疑似体験をしやすい服装で臨む、タオル持参		
	2	高齢者疑似体験			疑似体験をしやすい服装で臨む、タオル持参		
	3	裁判所見学			スーツ着用、法廷内では私語厳禁。携帯はマナーモードにする		
	4	裁判所見学			スーツ着用、法廷内では私語厳禁。携帯はマナーモードにする		
	5	NHK見学			スーツ着用、公共電波視察にふさわしい態度		
	6	NHK見学			スーツ着用、公共電波視察にふさわしい態度		
	7	ハローウィンイベント準備			ハローウィンイベント準備に必要な物品を準備する		
	8	ハローウィンイベント準備			ハローウィンイベント準備に必要な物品を準備する		
	9	ハローウィンイベント開催			ハローウィンイベント準備に必要な物品を準備する		
	10	ハローウィンイベント開催			ハローウィンイベント準備に必要な物品を準備する		
	11	エアライン交流会			学科準備		
	12	エアライン交流会			学科準備		
	13	学園祭準備			学園祭準備に必要な物品をそろえる		
	14	学園祭準備			学園祭準備に必要な物品をそろえる		
15	まとめ						
評価方法	(1)提出物は各期限を設定する (2)ホームワークを数回実施する (3)自習・行事を数回実施する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		50%
	意欲・努力				◎		50%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	English Communication II-②						
科目名(英)	English Communication I						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner.		
実施年度	2019	実施時期	2nd term	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	Airline 2nd Grade.						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve. Provide English skills for Everyday English + work environment.						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		To learn Everyday Vocabulary + remember key words Study to give students confidence to express themselves Encourage students to speak with confidence + a positive attitude.	
テキスト・教材 参考図書	Person to Person + Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Summer holiday class survey					
	2	Could I borrow that?					
	3	Could you change my ticket?					
	4	Likes + Dislikes					
	5	Immigration + Passengers					
	6	Boarding Pass + Departure Card					
	7	Asking questions for Tourism					
	8	Around the Airport					
	9	Airline Vocabulary					
	10	Which city did you like better?					
	11	What are you going to do?					
	12	Discussing Goals					
	13	Review					
	14	Test Preparation					
15	End of term test						
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品 態度・意欲				○		50
履修上の注意							

科目名	韓国語Ⅱ-②										
科目名(英)	korean										
単位数	3	時間数	45	担当者	李 銀晶(イ・ウンジョン)						
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目							
対象学科・学年	エアライン 科2年										
授業概要	この授業では、隣の国である「韓国」の社会と文化を日本社会と比べながらしっかり理解して、韓国語の文字基本会話・文法について学びます。さらに、この授業をきっかけにして日韓両国の「架け橋」になりたいという強い意志を求めて、グローバルな視野を持ち、国際的に活躍できる人物を育成します。基本的な韓国語のコミュニケーションスキルと韓国社会・文化について同時に講義を進めます。また、発音・会話練習があり、韓国語会話について自信感を高めます。さらに、韓国社会・文化の理解を得て、日韓関係について関心を深めることを目的とします。										
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				韓国語の文字・基本会話を覚えて、基本的な韓国語コミュニケーションを習得する					
		○				韓国語の文法について理解を得て、日本語の文法と比較する。					
	○	○				韓国語能力試験対策(TOPIK)2級に合格する。(個人受験)					
				○		韓国社会と文化と理解して日韓両国関係の改善に寄与する					
テキスト・教材 参考図書	韓国語学習スタートブック、韓国語能力試験合格対策講座NEW TOPIK！(白帝社)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	韓国語能力試験対策講座 単語練習(1) 名詞					テキストを事前に読んでおくこと				
	2~4	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	5	韓国語能力試験対策講座 単語練習(2) 動詞					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	6~8	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	9	韓国語能力試験対策講座 単語練習(3) 形容詞					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	10~12	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	13	韓国語能力試験対策講座 単語練習(4) 名詞					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	14~16	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	17	韓国語能力試験対策講座 単語練習(5) 副詞ーその他					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	18~20	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	21	特別講座 九州の中に韓国文化									
	22	模擬テスト実施									
	23	まとめ、総合復習									
評価方法	1.期末試験を実施する 2.出欠状況(無断欠席の場合は減点理由となります。)3.授業態度以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	定期試験	◎	○				50%				
	出欠状況				◎		25%				
	授業態度				◎		25%				
履修上の注意											

科目名	社会教養Ⅱ-②						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。また、コミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					社会における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話すことができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント、マナープロトコルの基礎知識&検定2級・3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	キャリアプラン					
	2	言葉のマナー					
	3	言葉のマナー					
	4	服装・化粧のマナー					
	5	贈り物のマナー					
	6	通信のマナー					
	7	人付き合いのマナー					
	8	旅行のマナー					
	9	食事のマナー					
	10	葬儀のマナー					
	11	結婚のマナー					
	12	社会人基礎知識①					
	13	社会人基礎知識②					
	14	社会人基礎知識③					
15	まとめ						
評価方法	(1)提出物は各期限を設定する (2)ホームワークを数回実施する (3)自習・行事を数回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		50%
	意欲・努力				◎		50%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	接客手話②							
科目名(英)	signlanguage							
単位数	2		時間数	30		担当者	吉田美樹	
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	エアライン科 2年							
授業概要	聴覚障害についての知識習得と、ろう者のコミュニケーション・情報獲得等を支援するため、独自の文法を持ち、表情や身振りをを用いて豊かに表現する視覚的な言語である手話を学ぶ。							
授業形式	講義:	○		演習:		実習:		
						実技:	○	
	※ 主たる方法:○ その他:△							
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
		○				聴覚障害について学び、聴覚障害者へ必要な対応方法を配慮することができる。		
	○	○		○		日常よく使う手話表現を学習し、簡単なコミュニケーションをとることができる。		
テキスト・教材 参考図書	一般財団法人全日本ろうあ連盟 今すぐはじめる手話テキスト「聴さんと学ぼう！」							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	「伝え合ってみましょう」・「あいさつしてみよう」の復習					前期の復習・手話は目で見える言葉です。しっかり講師の表現方法を見て覚えてください。他に知りたい手話があったら遠慮なく聞いてください。前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。	
	2	「名前を表してみよう」・「時を表してみよう」の復習						
	3	「天気・季節の表現」・「感情の表現」の復習						
	4	自己紹介をしてみよう						
	5	あいさつをしてみよう						
	6	手話がわからなかったとき						
	7	病気やけがで困ったとき						
	8	数字や時間の表現を覚えよう						
	9	趣味を話そう						
	10	行きたい場所の表現を覚えよう						
	11	お天気と乗り物の手話を覚えよう					手話は目で見える言葉です。しっかり講師の表現方法を見て覚えてください。他に知りたい手話があったら遠慮なく聞いてください。前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。	
	12	買い物とお金の表現を覚えよう						
	13	ろう者の生活を知ろう						
	14	災害に関する手話を学ぼう						
15	今まで学んできた手話を活かして話してみよう							
評価方法	(1)各授業項目の手話表現の正確さ・授業態度で評価							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験							
	小テスト							
	宿題・レポート	○	○				30%	
	発表・作品	○	○		○		70%	
履修上の注意	(講師が聴覚障害者の為、手話通訳が同行します)							

科目名	卒業論文						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45	担当者	森永 久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・課題として出されている卒業論文の完成と期限内の提出 ・航空業界/鉄道業界分野の知識とスキルの向上 ・2年間の学習成果をまとめ、今後の業界に役立てる 						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○		○		企業研究をし、学生自身が白田ことを説明することができる	
	○	○		○		論文に必要な知識を集約することができる	
	○	○		○		読み手にその論文がどうい問題意識から何について書かれたもの説明することができる	
	○	○		○		論述してきたことをわかりやすく記入し、説明することができる	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	卒業論文の書き方			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	2	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	3	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	4	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	5	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	6	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	7	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	8	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	9	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	10	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	11	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	12	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	13	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	14	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	15	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	16	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	17	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	18	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	19	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	20	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること		
	21	まとめ・発表			発表準備をする		
	22	まとめ・発表			発表準備をする		
23	まとめ・発表			発表準備をする			
評価方法	(1)授業態度 (2) (3)自習・行事を数回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		25%
	意欲・努力				◎		25%
	提出物状況				◎		50%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	地理Ⅱ						
科目名(英)	World Geography						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	国際人をめざし、国際人として世界の地理を理解しその自然とその風土・文化を愛し、他国の人にも説明することができるようことを目指す。また各国の価値観を理解し、互いにその違いと共通点を見出すことができることを目指す。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					地理を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な世界の地理・風土・文化が説明できる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	地図脳ワーク・プリント・地図帳						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	世界のすがた(1)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	世界のすがた(2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	世界各地の人々の生活と環境(1)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	世界各地の人々の生活と環境(2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	アジア州とアフリカ州			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	ヨーロッパ州			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	北アメリカ州と南アメリカ州			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	オセアニア州			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを毎回実施する。(2)宿題・レポートを提出する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート	○	◎		◎		40%
	発表・作品	◎	◎		◎		60%
履修上の注意	学習意欲(居眠り・私語)は減点の対象とする						

科目名	中国語Ⅱ-②						
科目名(英)							
単位数	3	時間数	45	担当者	青柳七重		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	観光系エアライン科2年						
授業概要	アスペクト助詞や助動詞を復習し、また強調構文などより高度な表現方法を学んで仕事の現場で使える中国語の習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○						
	○						
	○						
目標	アスペクト助詞を復習し、適切な動作の状況を表示する。						
目標	補語や協調構文を学び、よりの確な表現ができる。						
目標	中国語検定試験4級・3級の合格を目指す。						
テキスト・教材 参考図書	どんどん吸収中国語(光生館)/中国語検定4級・3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	アスペクト助詞・助動詞の復習			第9課までの復習		
	2	L.10動作・状態の持続			新出語句の確認		
	3	L.10程度副詞・動詞の重ね形					
	4	L.10道の尋ね方・練習問題					
	5	L10復習・小テスト			第10課文法事項の確認		
	6	L.11結果補語			新出語句の確認		
	7	L.11方向補語					
	8	L.11補語まとめ					
	9	L.11復習・小テスト			第11課文法事項の確認		
	10	L.12進行形			新出語句の確認		
	11	L.12比較構文					
	12	L.12禁止形					
	13	L.12復習小テスト			第12課文法事項の確認		
	14	L.13強調構文			新出語句の確認		
	15	L.13方位詞					
	16	L.13変化の「了」					
	17	L.13復習・小テスト			第13課文法事項の確認		
	18	L.14接続詞			新出語句の確認		
	19	L.14使役形					
	20	L.14手紙の書き方					
	21	L.14復習・小テスト			第14課文法事項の確認		
	22	L.10～14 まとめ					
	23	期末試験					
評価方法	(1)各課終了後に小テストを実施する。(2)定期試験を実施する。(筆記) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				20%
発表		◎		◎		30%	
履修上の注意	付属のCDで音・意味・漢字が結びつくように常に耳を慣らしておくこと						